

株式会社アドバンスクリエイト  
平成28年9月期  
**業績説明資料**

---

(平成27年10月～平成28年9月)



平成28年11月11日



## 本誌取扱上の注意点

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点における情報に基づき判断したものであり、マクロ環境や当社の関連する業界動向等により変動することがあります。

従いまして、実際の業績等が、本資料に記載されている将来の見通しに関する記述と異なるリスクや不確実性がありますことをご了承ください。

# 目次

<u>I. 平成28年9月期の状況</u>	4
■ 決算概要	5
■ 営業管理データ	9
<u>II. 当社の戦略について</u>	18
■ はじめに	19
■ ビジネスモデル	21
■ マーケティング戦略	24
■ 投資戦略	27
■ 管理体制	28
■ 資本政策	29
■ 総括	31

## I . 平成28年9月期の状況

---

## 平成28年9月期 決算ハイライト

### 連結業績

売上高は、**7,295百万円**となり、前期比21百万円の増収  
営業利益は、**954百万円**となり、前期比199百万円の減益  
経常利益は、**926百万円**となり、前期比217百万円の減益  
当期純利益は、**582百万円**となり、前期比62百万円の減益

平成28年9月期の配当については、第2四半期は1株当たり22円50銭、期末は東証一部銘柄指定記念配当2円50銭を増配し1株当たり25円00銭、年間合計は1株当たり47円50銭の配当となっております。

## 平成28年9月期 損益計算書（連結）

(単位:百万円)	平成27年9月期	構成比(%)	平成28年9月期	構成比(%)	前期比 増減率(%)
売上高	7,274	100.0	7,295	100.0	0.3
保険代理店事業	6,629	91.1	6,426	88.1	▲ 3.1
メディア事業	353	4.9	917	12.6	159.4
再保険事業	555	7.6	638	8.7	14.8
全社消去	▲ 264	▲ 3.6	▲ 687	▲ 9.4	—
売上原価	1,424	19.6	1,493	20.5	4.8
売上総利益	5,849	80.4	5,801	79.5	▲ 0.8
営業費用	4,695	64.5	4,846	66.4	3.2
営業利益	1,153	15.9	954	13.1	▲ 17.3
保険代理店事業	1,019	14.0	630	8.6	▲ 38.2
メディア事業	76	1.1	222	3.1	190.7
再保険事業	55	0.8	99	1.4	80.5
経常利益	1,143	15.7	926	12.7	▲ 19.0
当期純利益	644	8.9	582	8.0	▲ 9.5
一株当たり当期純利益(円)	59.04		54.17		

※当第3四半期より、セグメント上において広告代理店事業をメディア事業に名称変更しております。

- 売上の状況は、事業の根幹であるWEB資料請求や商談数(アポイント数)は大きく増加したものの、マイナス金利等の影響による学資・年金保険等貯蓄性商品の販売停止や代理店手数料率の相対的低下等により、保険代理店事業においては軟調に推移いたしました。一方、メディア事業においてはWEBサイト「保険市場(ほけんいちば)」の媒体価値向上に伴いメディア関連収入が大幅な増収となり、また、再保険事業も引き続き好調に推移いたしました。以上により、売上高は前期と同水準の結果となりました。
- 利益面では、メディア事業及び再保険事業において大幅な増益となったものの、保険代理店事業においては、上記減収に加え、人件費等営業費用の増加に伴い、連結経常利益は19.0%の減益となりました。

## 平成28年9月期 貸借対照表（連結）

（単位：百万円）	平成27年9月期末	平成28年9月期末	増減
流動資産	4,177	3,448	▲ 728
現預金	1,667	1,047	▲ 619
売掛金	1,494	866	▲ 628
未収入金	545	1,130	585
その他	469	403	▲ 66
固定資産	3,181	3,512	330
有形固定資産	572	643	71
無形固定資産	587	795	208
投資その他の資産	2,021	2,072	51
繰延資産	2	0	▲ 1
資産合計	7,361	6,960	▲ 400

（単位：百万円）	平成27年9月期末	平成28年9月期末	増減
流動負債	1,768	1,669	▲ 99
短期有利子負債	358	264	▲ 93
その他	1,410	1,404	▲ 5
固定負債	781	724	▲ 56
長期有利子負債	403	247	▲ 156
その他	377	477	99
負債合計	2,550	2,394	▲ 156
資本金	2,915	2,915	-
資本剰余金	352	352	-
利益剰余金	1,473	1,563	89
自己株式	▲ 14	▲ 363	▲ 349
その他	83	99	15
純資産合計	4,810	4,566	▲ 244
負債及び純資産合計	7,361	6,960	▲ 400

### 【資産】

資産合計は、前期末比で400百万円減少しております。

主な減少要因は、売掛金の回収による減少(628百万円)、自己株式の取得及び社債の償還等に伴う現預金の減少(619百万円)によるものです。

### 【負債及び純資産】

負債合計は、前期末比で156百万円減少しております。

これは、社債の償還により有利子負債が減少したことによるものです。

純資産合計は、前期末比で244百万円減少しております。

これは、当期純利益の計上により増加したものの、前期末・第2四半期の配当金支払い(493百万円)及び株式給付信託導入等に伴う自己株式の増加(349百万円)により純資産が減少したことによるものです。

## 平成28年9月期 キャッシュ・フロー計算書（連結）

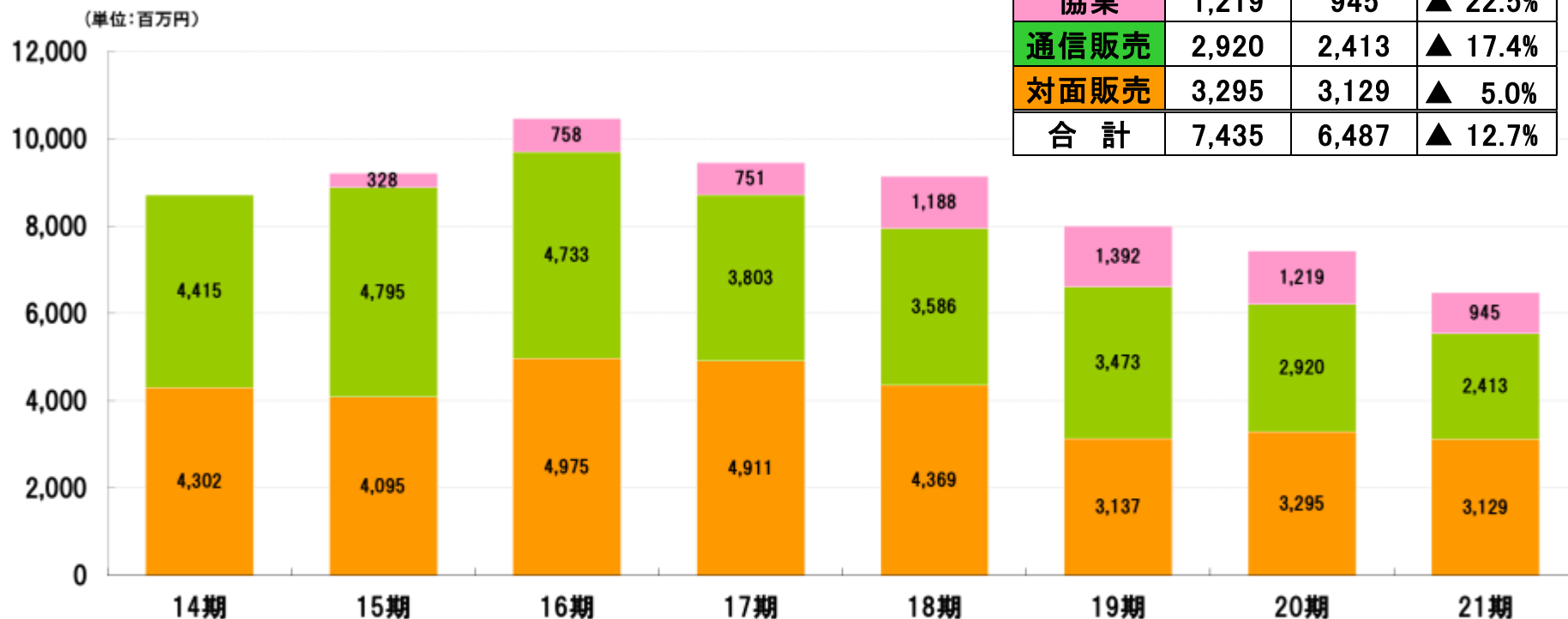
(単位:百万円)	平成27年9月期	平成28年9月期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,155	1,031	▲ 1,124
税金等調整前当期純利益	1,038	895	▲ 142
減価償却費	359	344	▲ 14
売上債権の増減額	1,605	631	▲ 974
その他	▲ 847	▲ 840	6
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 450	▲ 432	17
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 554	▲ 1,217	▲ 662
有利子負債の増減額	▲ 200	▲ 200	—
配当金の支払額	▲ 429	▲ 492	▲ 63
その他	74	▲ 525	▲ 599
現金及び現金同等物に係る換算差額	▲ 0	▲ 0	▲ 0
現金及び現金同等物の増減額	1,150	▲ 619	▲ 1,769
現金及び現金同等物の期首残高	514	1,664	
現金及び現金同等物の期末残高	1,664	1,044	▲ 619

営業活動による収入は1,031百万円(税金等調整前当期純利益の計上等)となったものの、投資活動による支出432百万円(無形固定資産の取得等)、及び財務活動による支出1,217百万円(配当の支払・有利子負債の返済・自己株式の取得)により、現金及び現金同等物は前期末に対し619百万円減少し、1,044百万円となりました。



## チャンネル別申込ANPの推移

貯蓄性商品の販売減少等により、前期比**12.7%減**



	20期	21期	前期比
協業	1,219	945	▲ 22.5%
通信販売	2,920	2,413	▲ 17.4%
対面販売	3,295	3,129	▲ 5.0%
合計	7,435	6,487	▲ 12.7%

※ANPとは新契約年換算保険料の意味で、月払い保険料5,000円の場合、ANPは60,000円となります。

※当社グループの収益は、新規申込ANPベースでの収入の他、既存の保有契約ストックから得られる保険代理店手数料収入や、メディア関連収入、再保険事業収入等で構成されております。

※直近四半期については速報値ベースで記載しております。

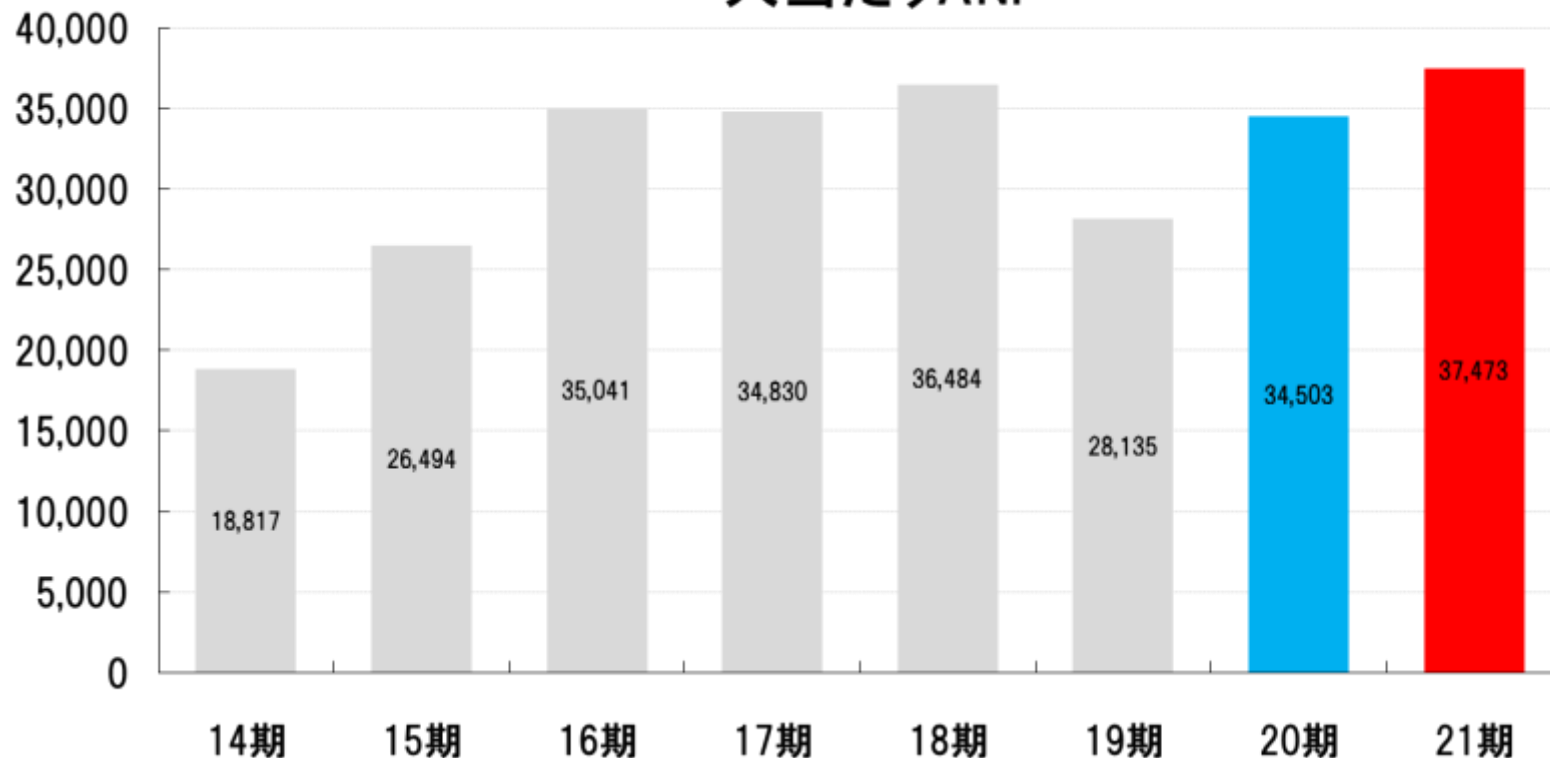
※第21期より一時払い保険について調整を行っており、過去の計算結果についても最新の算出方法に基づき再計算しております。

## 対面一人当たりANPの推移

マイナス金利の影響により貯蓄性商品の販売が伸び悩む中、  
一人当たりANPにおいては前期比**8.6%増**

(単位:千円)

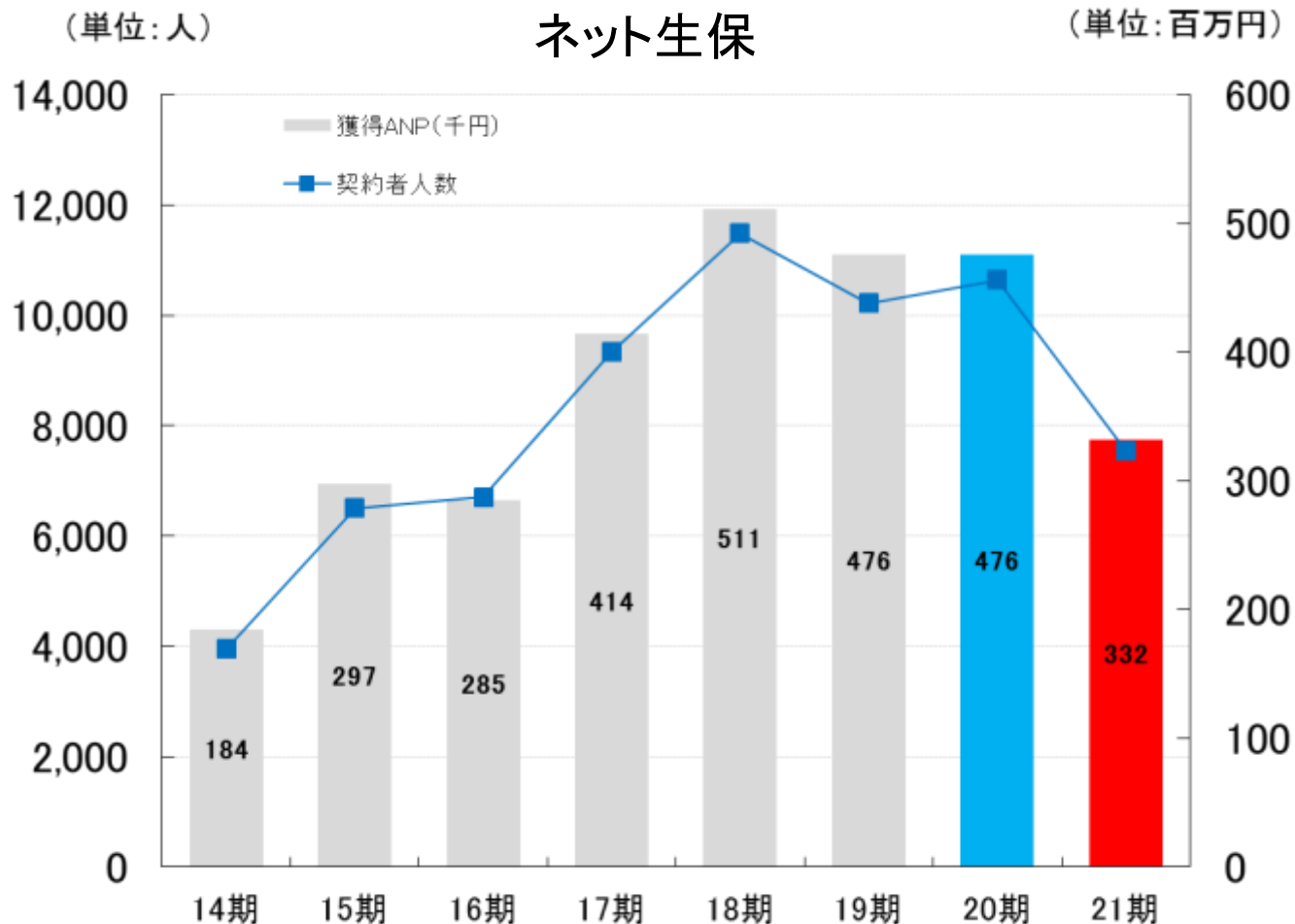
### 一人当たりANP



※一人当たりANPの計算上、一時払い保険について調整を行っております。

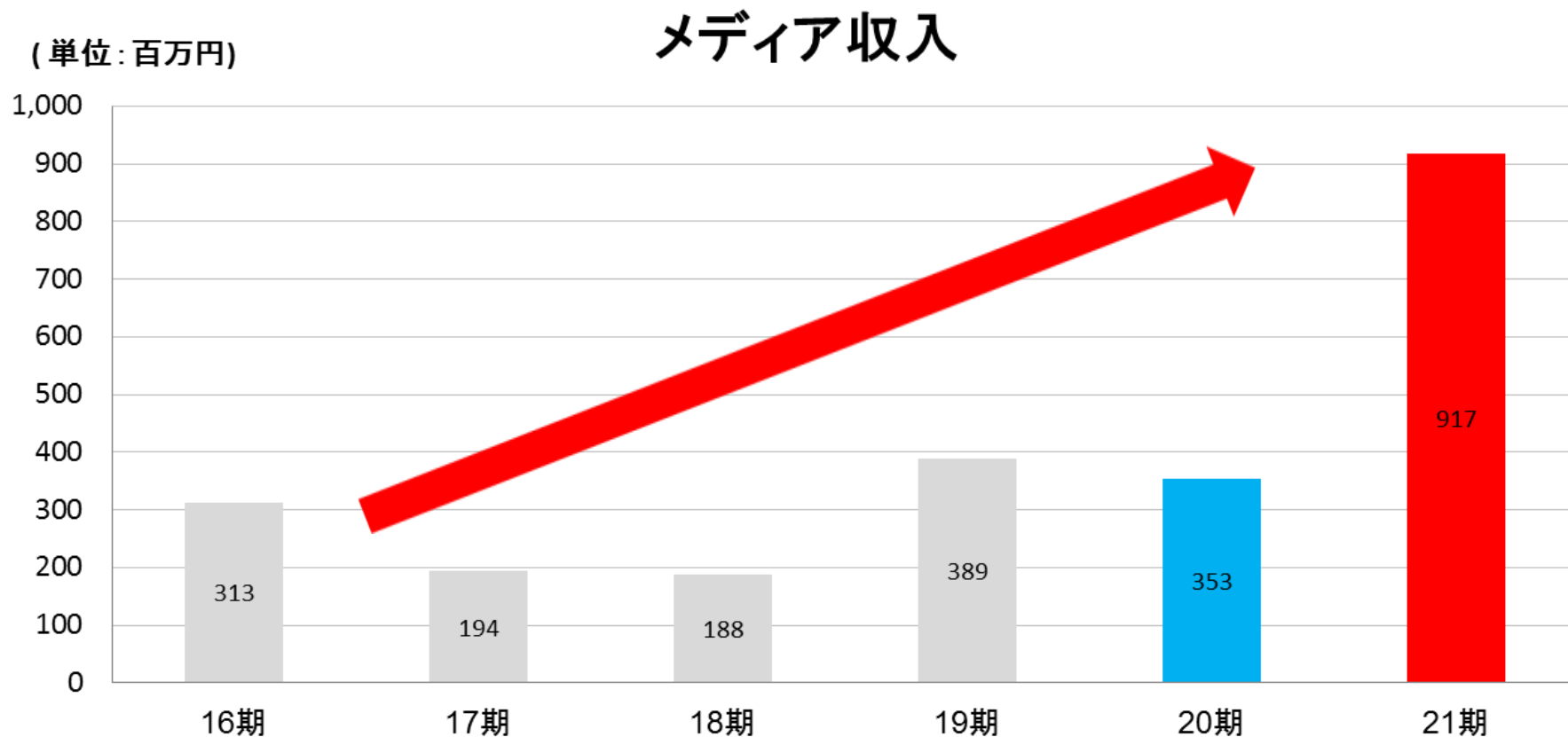
## ネット生保ANPの推移

資料請求型プロモーションに傾注した結果、前期比**30.3%減**



## メディア収入推移

WEBサイト「保険市場(ほけんいちば)」の価値向上に伴い  
前期比**159.4%増**



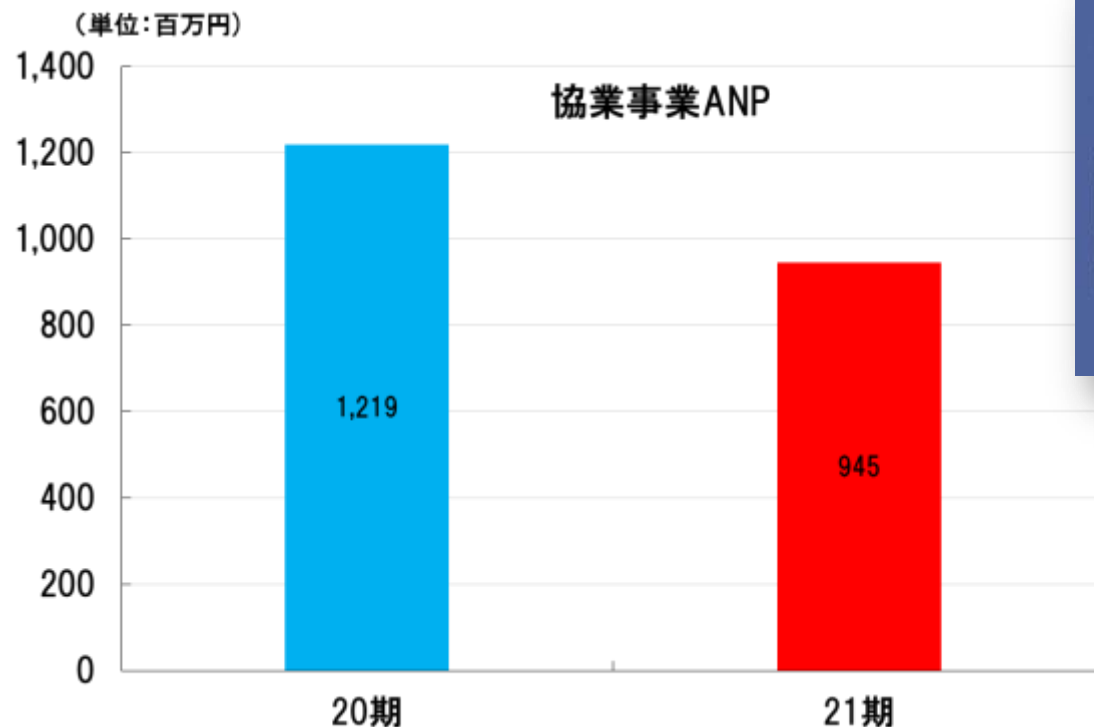
## 協業ANPの推移

管理体制強化のため提携先の集約化を図り、提携社数は47社減少  
協業においても貯蓄性商品の販売減少が影響し、前期比**22.5%減**

- ショップ・テレマーケティング・訪問 多様な協業チャネルにより全国展開
- お客様に対し、最適なコンタクトポイントの提供

【提携代理店 123社 提携店舗 314店 提携稼働募集人 約51千人】※平成28年9月30日現在

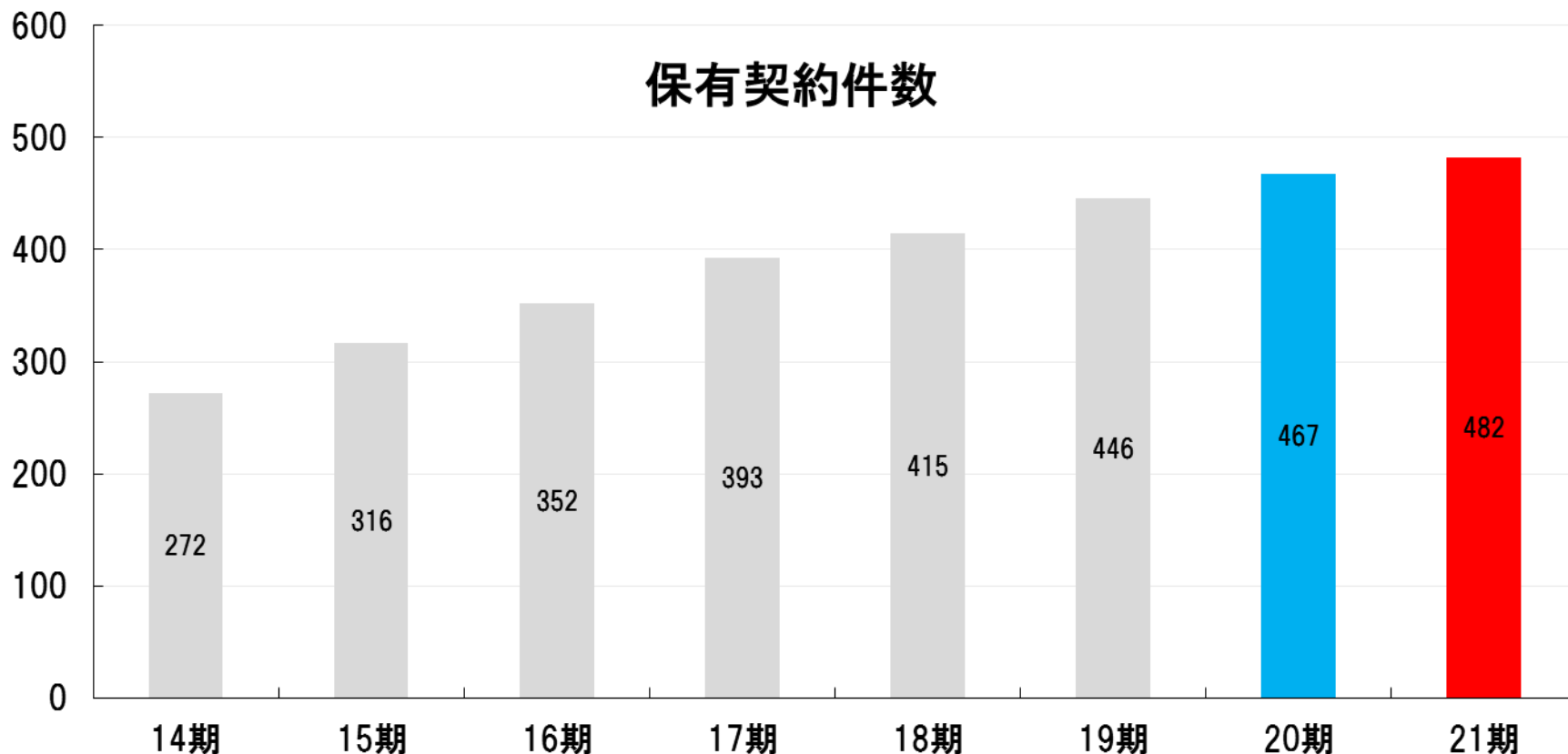
(20期末における提携代理店社数 170社)



## 保険契約件数の推移

保有契約件数は順調に増加し、前期比**3.1%増**

(単位:千件)

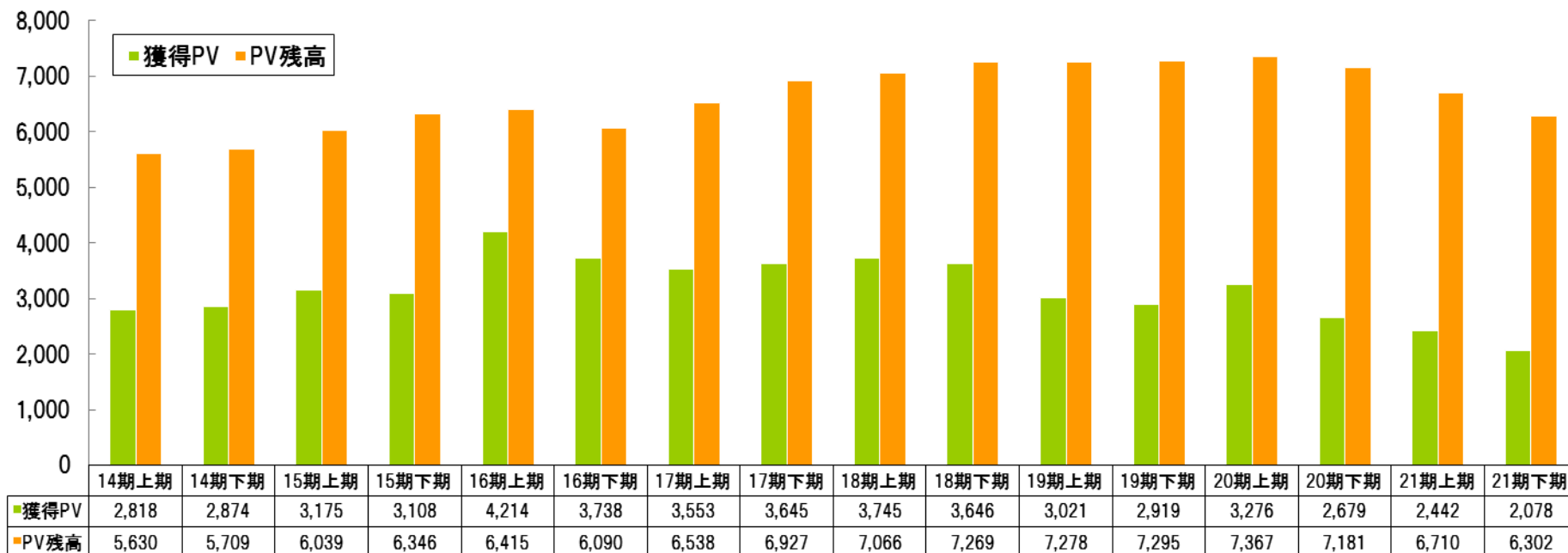


※ 保有契約件数の対象となるものは生命保険・医療保険等継続・更新されるものとし、短期傷害保険分(旅行保険等)については除いております。

## PV推移（保険代理店事業収益現在価値）

21期下期の獲得PVは2,078百万円となり、PV残高は6,302百万円となる

(単位:百万円)

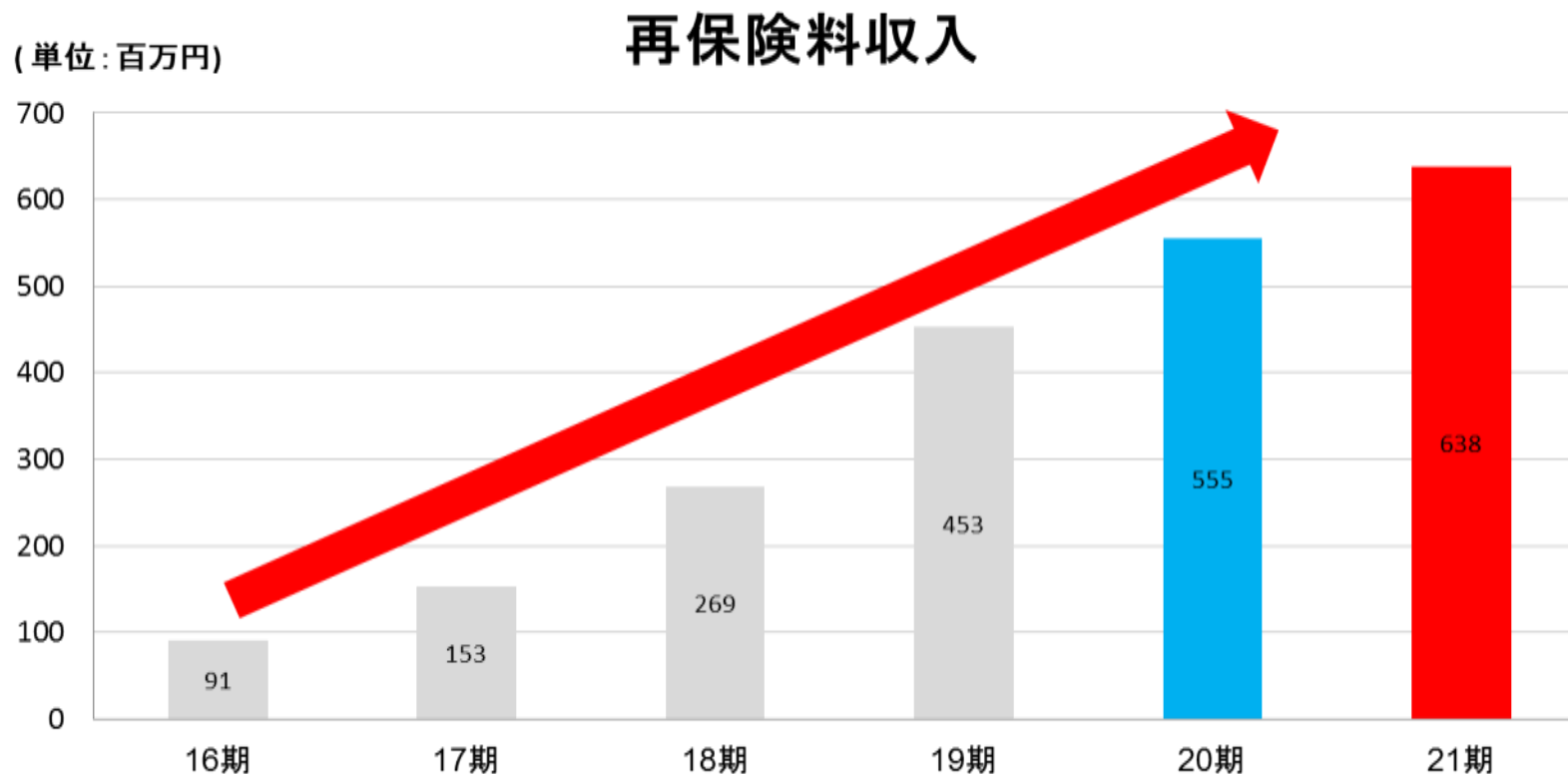


※1 PV(Present Value)とは当該期の新規契約より発生する保険手数料の収入見込額の現在価値を表し、申込ベースの金額から成立率、解約率、還元率を勘案して算出されたシミュレーション数値です。

※2 第18期上期より手数料率及び継続率等を最新の情報に見直しを行う等、算出方法の変更を行っております。当該変更に伴い期間比較を容易にするため、過去の計算結果についても最新の算出方法に基づき再計算しております。

## 再保険事業収入推移

再保険事業収入は引き続き伸張し、前期比**14.8%増**

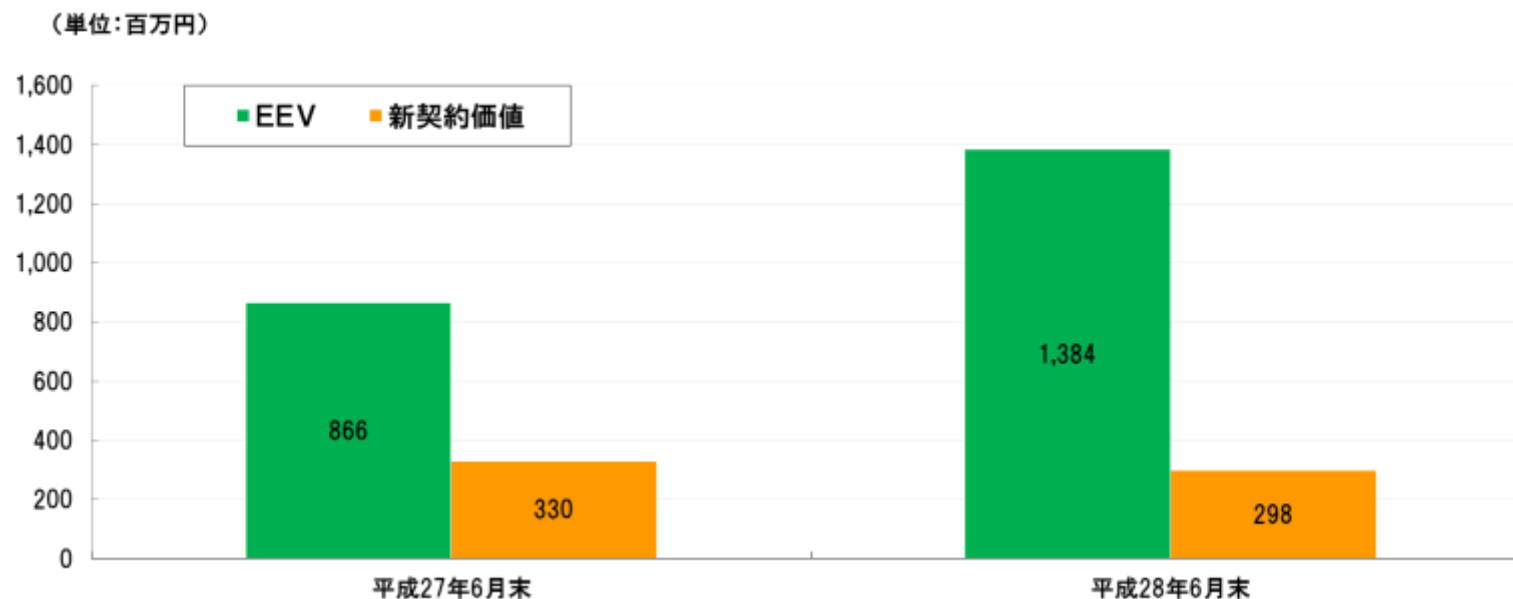


10社(生命保険6社、損害保険2社、少額短期保険2社)の再保険引受



## EEV推移（再保険事業収益現在価値）

再保険子会社Advance Create Reinsurance Incorporatedの平成28年6月末現在のEEV(ヨーロッパ・エンベディッド・バリュー)は1,384百万円、当期の新契約価値は298百万円



※1 EV(Embedded Value)とは、潜在する株主配当可能利益の現在価値を示す指標であり、新契約獲得時に将来の利益貢献を認識することにより、財務会計情報を補足する指標となります。当社は生命保険会社で広く採用されているヨーロッパ・エンベディッド・バリュー(EEV)を採用しております。

※2 EEVの計算は、専門的知識を有する第三者機関である有限責任監査法人トーマツに検証を依頼し意見書を受領しております。修正純資産、保有契約価値、新契約価値等の用語の意味並びに詳細な計算方法及び有限責任監査法人トーマツによる意見は、平成28年11月11日に開示しております「平成28年9月末におけるアドバンスクリエイトのプレゼント・バリューと平成28年6月末における再保険子会社のヨーロッパ・エンベディッド・バリューの開示について」をご参照ください。

## Ⅱ. 当社の戦略について

---

## 創立二十周年及び東証市場第二部への市場変更 そして、同市場第一部銘柄への指定

# 感謝

おかげさまでアドバンスクリエイトは、2015年10月4日に創立二十周年を迎えるとともに、同年10月16日をもって東京証券取引所市場第二部へ市場変更いたしました。そして、2016年7月22日には同市場第一部銘柄に指定されました。



### 当社の保険通販専門代理店としての変遷

ポスティング(1997年)



WEBマーケティング(現在)



### 保険通販専門代理店という一貫した軸

ロジスティクス



高い認知度



データベース



高い生産性



# ダンベル型ビジネスモデル

情報差益と死差益を収益源としたビジネスモデル



※生命保険には、利差益・費差益・死差益の3つの利源があります。そのうち死差益とは、想定した死亡率と実際の死亡率の差によって発生する利益のことを指します。

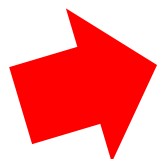
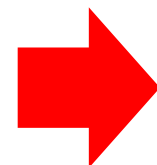
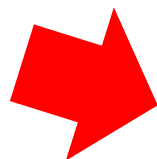
## 収益のポートフォリオ

保険に関するあらゆる収益機会へのアプローチ



### チャネルのポートフォリオ

WEBで集客し、あらゆる販売チャネルでアプローチ



# 保険市場

HOKEN ICHIBA  
The Insurance Market Place



ネット完結

通信販売

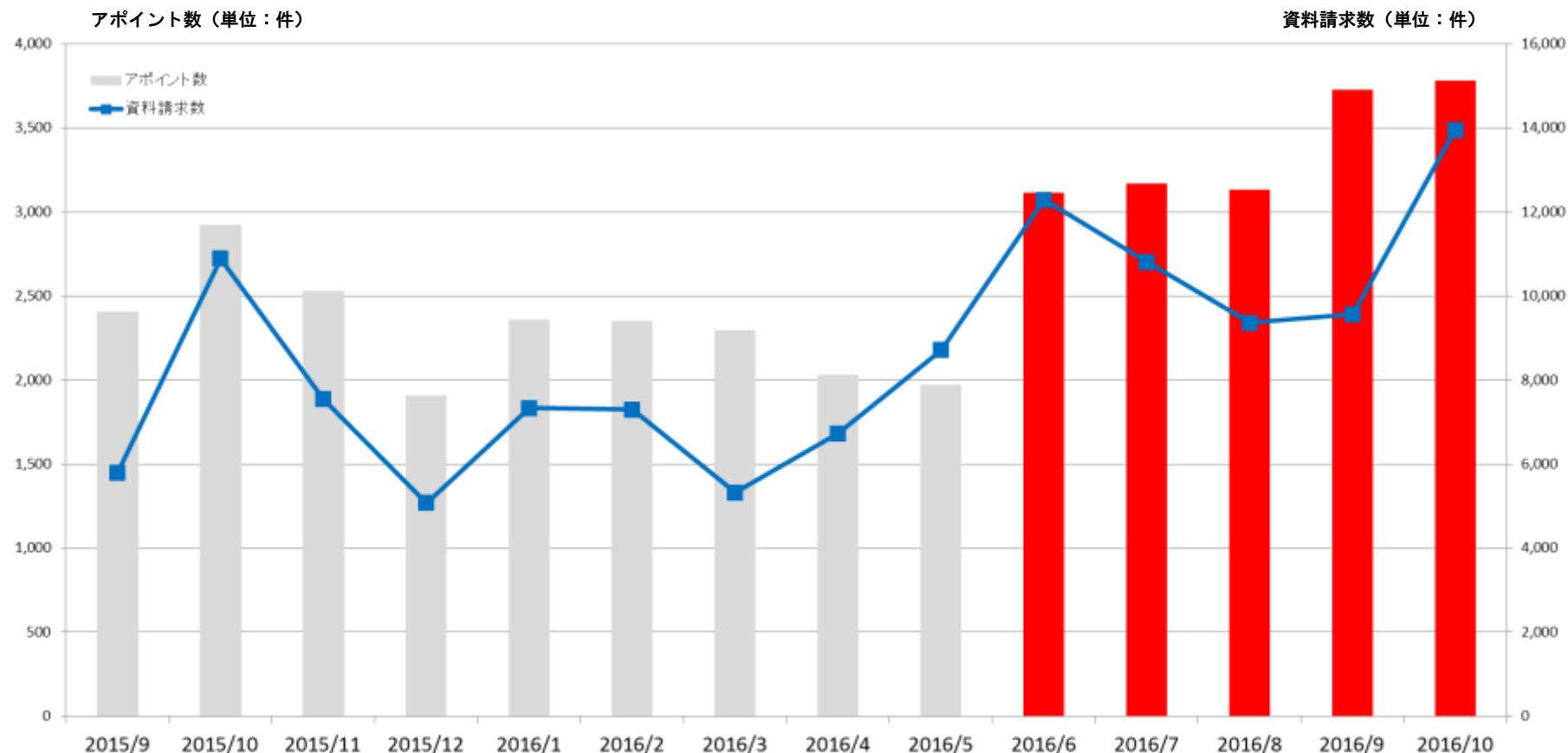
対面販売

協業

# WEBマーケティング

保険業法改正後、変化に対応すべくマーケティング手法を見直したことにより資料請求数・アポイント数※が劇的に増加

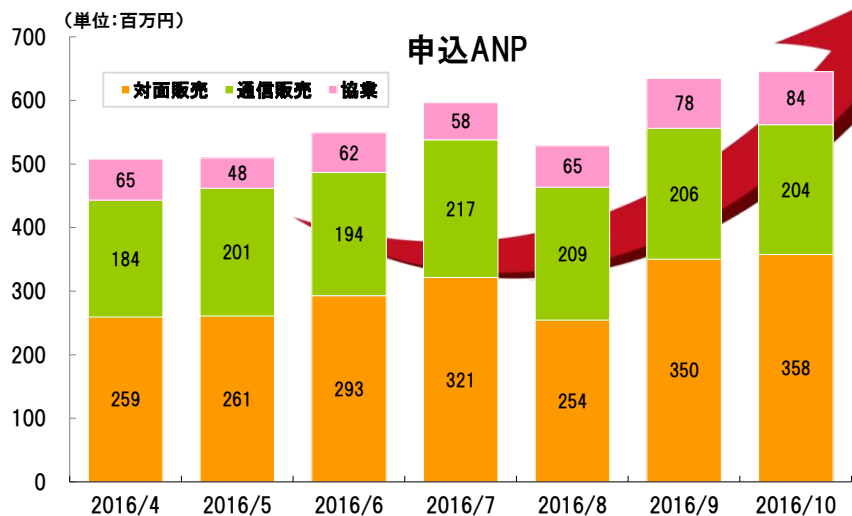
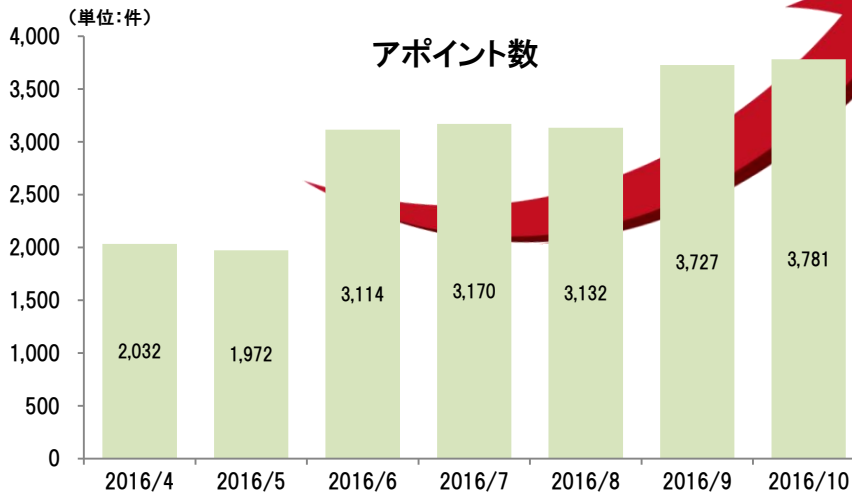
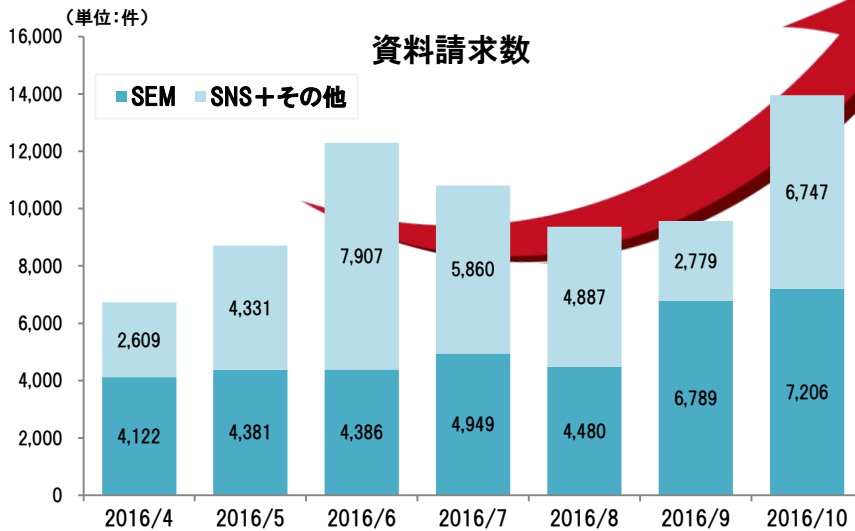
※アポイント数とは、Webから対面販売チャンネルに誘導した商談数となります。(対面拠点で獲得したアポイントは含んでおりません。)





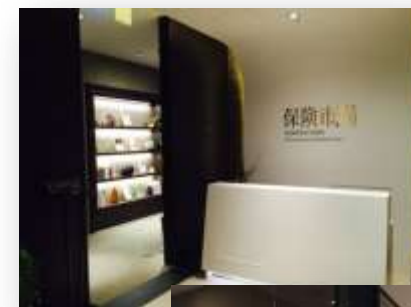
# 資料請求数・アポイント数・申込ANPの月次推移

※アポイント数とは、Webから対面販売チャネルに誘導した商談数となります。  
(対面拠点で獲得したアポイントは含んでおりません。)



# 対面販売チャネル

## 事業再編の発展型



千里中央サテライトプラザの統合  
(2015年11月)

梅田阪急コンサルティングプラザ  
移転 リニューアルオープン  
(2016年1月)

千里中央コンサルティングプラザ  
増床 リニューアルオープン  
(2016年11月)

# 投資戦略

## ROI(投資対効果)の極大化を図る

### ◆IT・システム投資

- システム投資の継続・強化
- 『IT』から『AI』へ  
→AIと人材の相乗効果により、  
より高い次元でのセキュリティと  
環境変化へのフレキシブルな対応

### ◆人材投資

- 採用活動の強化
- 積極的な人材投資
- 福利厚生制度の充実



### 管理体制の強化

#### 従前より整備を行ってきた管理体制を強化・継続

##### ◆改正保険業法への対応

事前準備に注力した結果、平成28年5月29日に施行された後も支障なくスムーズに対応

改正保険業法に対応したシステム開発及び各種研修を継続的に実施

##### ◆ガバナンス体制・コンプライアンス体制

平成27年12月の株主総会にて社外取締役を2名体制に増員  
各種特設委員会の運営

(ガバナンス委員会、コンプライアンス委員会、社内プロジェクトチーム 等)  
コンプライアンス研修の実施・自社法務部門による牽制

##### ◆情報セキュリティ

個人情報保護体制の構築・情報セキュリティ監査の実施  
担当部署による有人監査体制の確立

##### ◆提携先代理店の個人情報管理体制の確認

提携先の管理体制水準の向上を目的とした監査の実施

## 株主の状況

【平成28年9月30日現在】 株主数 8,222名 (単元未満株主を含む)

### ■ 上位10名

株主名	所有株数	持ち株比率(%)
有限会社濱田ホールディングス	2,206,200	20.05
濱田 佳治	763,600	6.94
住友生命保険相互会社	549,600	4.99
メットライフ生命保険株式会社	549,600	4.99
濱田 亜季子	472,700	4.29
富国生命保険相互会社	450,000	4.09
太陽生命保険株式会社	365,500	3.32
AIG富士生命保険株式会社	273,000	2.48
三井住友海上火災保険株式会社	249,400	2.26
資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)	222,900	2.02

### 【株主還元】

平成28年9月期の配当については、第2四半期は1株当たり22円50銭、期末は東証一部銘柄指定記念配当2円50銭を増配し1株当たり25円00銭、年間合計は1株当たり47円50銭の配当となっております。

## 募集新株予約権の発行 第2回従業員持株会支援信託ESOPの導入

### 【募集新株予約権の発行】

対象者：全執行役員（計7名 400,000株）

対象期間：平成29年9月期から平成31年9月期決算

権利行使可能条件：連結経常利益15億円超

権利消滅条件：連結経常利益10億円未満

### 【第2回ESOPの導入】

対象者：従業員持株会加入者

信託規模：290百万円

期間：5年

# 決算情報ハイライト

連結	18期 通期実績	19期 通期実績	20期 通期実績	21期 通期実績	22期 通期予想	前期比
売上高	7,625	7,462	7,274	7,295	7,910	8.4%
営業利益	1,295	1,131	1,153	954	1,030	7.9%
経常利益	1,258	1,107	1,143	926	1,000	7.9%
当期純利益	648	655	644	582	600	2.9%
売上高経常利益率	16.5%	14.8%	15.7%	12.7%	12.6%	
ROE	16.2%	15.6%	14.1%	12.4%	13.3%	

### 【配当予想について】

平成29年9月期における配当については、第2四半期22円50銭、期末22円50銭、年間合計45円00銭を予定しております。

## 目標とする経営指標

<b>ROE</b>	<b>20%以上</b>
<b>売上高経常利益率</b>	<b>20%以上</b>
<b>配当性向</b>	<b>50%以上</b>
<b>自己資本比率</b>	<b>80%以上</b>





## お問合せ先

**経理財務部**

**片岡 幸一**

**TEL**

**06-6204-1193(代表)**

**メールアドレス**

**acir@advancecreate.co.jp**

**URL**

**<https://www.advancecreate.co.jp/>**